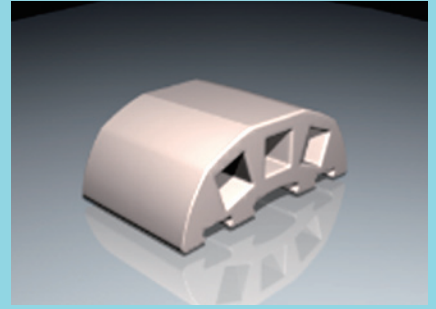




不思議な矯正治療法

ノンライゲーションブラケットを用いた新しい矯正治療



昭和大学歯学部歯科矯正学講座
教授
榎 宏太郎

第1報 症例供覧

新しい矯正治療用ブラケットManewverを開発しました。小さく低く滑らかなジルコニアの中に3本のスロットが開いているだけのとても単純な構造です。しかし、従来の装置で

はとても想像できないような歯の移動が可能となりました。「百文」は一見に如かず、まずは症例をご覧ください。

症例1 抜歯症例（19歳、女性）



1-1 動的治療開始時。



1-2 6ヶ月後。

症例2 抜歯症例（13歳、男性）

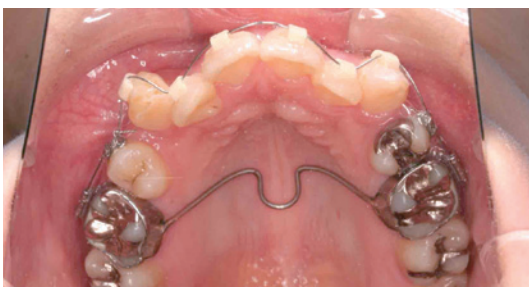


2-1 動的治療開始時。

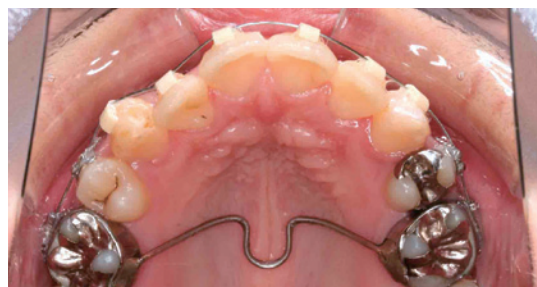


2-2 5ヶ月後。

症例3 抜歯症例（23歳、女性）



3-1 動的治療開始時。



3-2 2ヶ月後。

症例4 抜歯症例（19歳、男性）



4-1 初診時。



4-2 4ヶ月後。

症例5 抜歯症例（28歳、女性）



5-1 動的治療開始時。



5-2 5ヶ月後。

症例6 抜歯症例（19歳、女性）



6-1 動的治療開始時。



6-2 6ヶ月後。

症例7 非抜歯症例（41歳、男性）

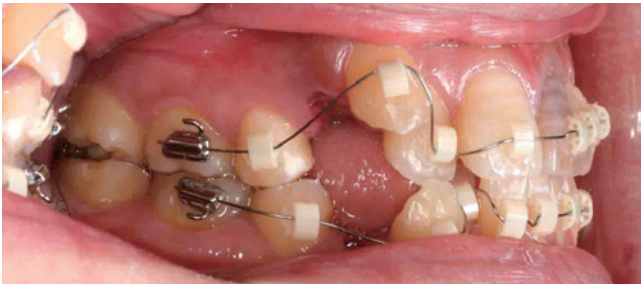


7-1 初診時。

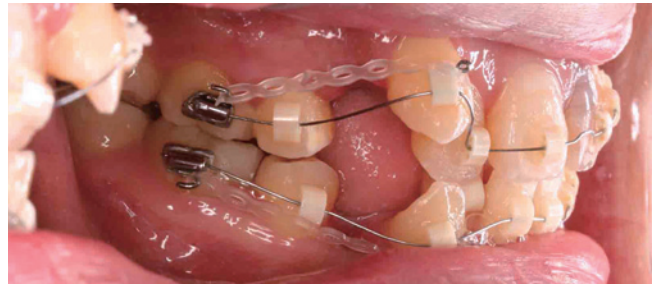


7-2 10ヶ月後。

症例8 抜歯症例 連続写真 (28歳、女性)



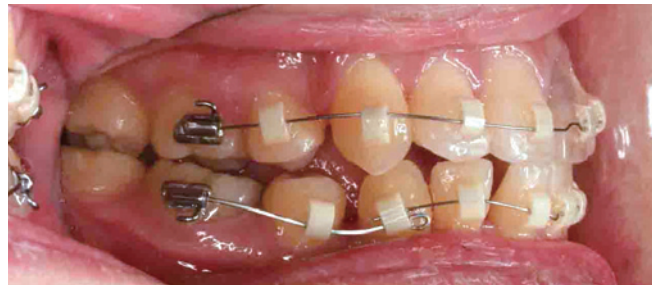
8-1 動的治療開始後1ヶ月。



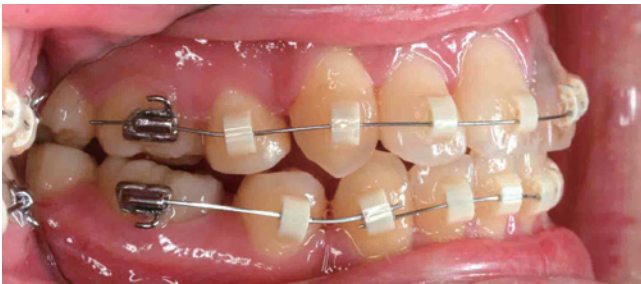
8-2 2ヶ月後。



8-3 4ヶ月後。



8-4 5ヶ月後。



8-5 7ヶ月後。



8-6 9ヶ月後。



8-7 13ヶ月後。

症例9 非抜歯症例 連続写真(12歳、男性)

正面・側面



9-1a 初診時。



9-1b 4ヶ月後。



9-1c 8ヶ月後。

今回は、9つの症例を提示致しましたが、歯の移動がとても速いことにお気づきになられたことと思います。いずれも、複雑なワイヤーベンディングなどは一切しておりません。では、なぜ、こんなにも速く、歯が並ぶのでしょうか？ いったい、

どうやってワイヤーを通すのでしょうか？ どんな症例で、何を注意すればいいのでしょうか？ 次号からその秘密をご紹介します。



榎 宏太郎 (まき こうたろう)

昭和大学歯学部歯科矯正学講座 教授

略歴・所属団体©1989年 昭和大学大学院 歯科研究科修了(歯学博士)、昭和大学歯学部 助手(歯科矯正学講座)。1995年 昭和大学歯学部 講師(歯科矯正学講座)。1998年 UCSF(カリフォルニア大学サンフランシスコ校)客員教授。2003年 昭和大学歯学部主任教授(歯科矯正学講座)。2011年 バーゼル大学客員教授。

下顎咬合面



9-2a 初診時。



9-2b 1ヶ月後。



9-2c 2ヶ月後。



9-2d 3ヶ月後。

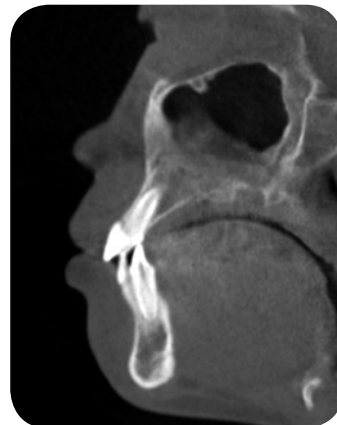


9-2e 4ヶ月後。



9-2f 8ヶ月後。

CBCT画像 (2の動きと唇側の骨)



10-1 初診時。



10-2 動的治療終了時。

次号掲載予定の第2報へと続く。